

徳力区画整理 防災対策 に議論集中

6月定例会



六月定例会は、六月十四日に開会し、八日間の会期で二十一日に閉会しました。
審議された議案は「社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正」など四十一件と「モノレール小倉線の工事施行」に関する諮問一件です。
慎重に審議を重ね、市長提出の全議案は原案どおり可決、議員提出議案は二件を可決し、二件を否決しました。諮問についても支障のない旨回答することに決まりました。

市長提出

▽社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
市立戸畑特別養護老人ホームなどの新設等のため、関係規定を改めるもの

▽下水道関連工事の請負契約締結

- ・管渠築造工事関係 四件
- 総契約金額 約十二億五千万円
- ・下水道処理場関係 四件
- 総契約金額約十五億三千四百万円

▽都市モノレール小倉線の工事施行に関する意見

モノレール小倉線の工事施行に係る道路の管理上の意見を、県知事から求められたので、道路管理者である市長の意見を述べるにあたって、議会の意見を求められたもの。

▽仮称総合療育センターの新築工事請負契約締結

契約金額 約五億六千三百万円

▽公有水面埋立てに関する意見

若松区響町一丁目地先の公有水面埋立について、北九州港湾管理者の長北九州市長から意見を求められたので、市長の意見を述べるにあたって、議会の議決を求められたもの。

議員提出(要旨)

◎国民健康保険事業の県費補助増額に関する意見書

国保財政は、度重なる医療費の改定などにより支出が大幅に増えています。本市も、今年度は一般会計から国保会計に十六億円を繰入れしている現状です。

よって、国保事業の健全な運営を図るため、県に補助金の大幅な増額を強く要請します。

◎「同和对策事業特別措置法」の強化促進と期限延長に関する決議

本市における同和对策事業は、「同和对策審議会答申」と「同和对策事業特別措置法」の趣旨にのっとり、積極的に推進されてきたが、残された一年有余の「特別措置法」の期限内では、最大限の努力が行われても所期の目的達成ははや困難な現状である。

よって、現行の「同和对策事業特別措置法」の期限を延長し、「同和对策審議会答申」の趣旨をふまえた内容に抜本的に改正し、従来の「同和行政に関する北九州市の基本的な考え方」の方針にのっとり、同和問題の完全解決が早期に達成できるよう最大の努力を払うことを本市議会は強く要望する。

人事紹介

今定例会において、次の方々が決まりました。

△敬称略▽

北九州市監査委員

高巢 大

人権擁護委員候補者

二村 正巳・辻 正喜

黒木武良雄・西村 法昭

小出 健児・相川 定

市野 一郎

可決したまなものの



六月十四日から三日間、本会議で十三名の議員が議案や市政一般に対する質疑を行いました。その中から主だった質疑を取上げています。

行き詰り打開を

徳力区画整理

議員 四十八年十月に行われた区画整理事業審議会委員選挙の投票箱が、いまだに凍結されたままです。今後どうするつもりですか。

また、先日、小倉南区の議員協議会が地元の各団体と話し合いましたが、地元ではいづれも今の形で進めることに、大きな不安を持っています。このままでは事業の進展は難しいと思います。国道322号線の交通渋滞を早く解消するためにも、区画整理地域内の322号線拡幅と志井川改修は用地買収方式等によって、区画整理と切離してモノレール事業より先に進める考えはありませんか。

また、区画整理地域外のモノレール路線片野・北方間の道路用地買収計画についてお尋ねします。

市長 区画整理事業を進めるには、なんといいっても、まず審議会を構成しなければなりません。地元の各団体と鋭意話し合いを続けながら、また、地権者に対してPRを続けながら、無事平穩に投票箱

の凍結解除ができる事態を生みだすべく、努力をしているところであります。地元でも区画整理に対する理解もだいぶ進み、機運も熟してきましたので、最終的な段階に徐々に近づきつつあるとみています。322号線拡幅と志井川改修を用地買収方式でということですが、面的に全体を整備するものに対して一部買収方式を取入れますと、区画整理事業計画そのものが崩れてしまいます。根気よく話し合いを続けて、円満に全体を区画整理事業として進める中で、322号線・志井川の問題を解決していきます。

都市計画局長

区画整理地域外の片野・北方間四・七kmの用地買収については、モノレール沿線の環境問題について話し合いを進めており、一部では、すでに測量・用地買収にかかっております。

モノレール事業の工程と合わせて一応来年度中には、用地買収を終りたいと考えています。

積極的な対策を

土砂崩れ防止

議員 土砂崩れなどが予測される所は、民有地であっても、市が主体となって事前に防災工事を行うべきではありませんか。

市長 ご指適のとおり、災害発生が予測される所は、前もって防災工事を行うよう今後も努めてまいります。

ただ公共の道路や施設に何ら関係ない民有地について、ただちに公費をもって防災工事を行うというわけにはいきません。民有地については、所有者が防災工事を行うのが原則です。

都市計画局長 急傾斜地を宅地造成したような災害の危険性が高い所は、雨期はもちろん常時パト



河川整備

議員 六月十日の豪雨によって河川のはん濫が市内随所で起っています。流域住民の不安は非常に深刻です。河川整備の対策が十分ではありませんか。

市長 四十五年度から、国営や県営河川でも、市が補助を受けて整備を行うという制度が発足しました。これにより、新々堀川など十河川を整備中です。さらに五十年年度から、その他の河川についても補助が受けられることになり、東谷川など三河川の整備を行っています。これらの制度により、遅ればせながら整備を進めています。

しかし、決して十分ではありませんので、国や県に補助の増大を働きかけながらお一層力を入れてまいります。

市でも助役をトップとして推進本部を設置して、十分な体制をとっています。

開催まであと三か月余りなので、特に広報宣伝、会場周辺の整備に力を入れていきます。

議員 大規模な中国展が本市で開催されることは、日中友好促進のためにも誠に有意義であると思えます。この催しをぜひ成功させるために、市では、どんな推進計画を立てていますか。

また、自治会を通じて各世帯に入場券を割り当てているようですが、一部には半ば強制的だとの不満も聞かれるようです。だれもが喜んで協力できるような、十分配慮をお願いいたします。

市長 今年の一月に西日本中国展協力が発足し、展覧会をぜひ成功させるために、準備を進めています。

入場券の発売については、百万人以上の入場を達成させるために、六月末までに市内で半分の五十万枚の前売券を売る予定です。自治総連合会に相談したところ快く引受けていただいたわけで、決して強制的に売っているわけではありません。七月以降は各企業、団体、学校、市外、県外にも働きかけていきたいと思っています。



周辺整備が進む西日本総合展示場

見まもります

議員 福智山に、直方と頂吉を結ぶ頓野林道の開設工事が、林野庁によって進められており、合せてその周辺の森林伐採が計画されています。

この地域は、県内唯一の自然林だといわれていますし、また、上水道用水、洪水調節などの多目的ダムである、ます淵ダムの集水域にもなっています。

林道開設工事や森林伐採計画を進めることは、自然破壊につながるばかりではありません。降雨時には地中に雨水が浸透せず、瞬時に土砂を伴って川やダムに流

福智山系自然保護

れ込み、ダム機能をマヒさせて、下流域一帯に水害を引き起こす恐れすらあります。

市は、この林野庁の計画に対しどんな考えをもっているのですか。

また、自然保護の立場から、この計画に反対している団体には、どう対処するのですか。

市長 林道開設については、総合的な見地から考える必要があると思います。

この地域の国有林の施業（伐採・植林を行うこと）には、欠かすことのできない工事であると考え

ます。また、頂吉地区には、林業で生計を営む市民もおられます。こうしたことから、市としては、絶体反対という立場はとっていません。

ご指摘のような自然破壊や災害が起きないように、林野庁に対しては、特に厳正に自然環境の保全に努めるよう申し入れています。

将来の国有林施業計画についても、林野庁と十分連絡をとりながら、見守っていく考えです。

また、自然保護団体と林業団体あるいは林野庁との仲立ちは、これまで何度も話し合いの場を設けており、今後も、双方の立場が両立するように努めていく考えです。

都市高速道路やモノレール及び国鉄などの交通機関をどの様に総合的に配置するかが問題です。

市としては、駅を立体化して、これらの交通機関を組み入れようと、関係者と協議中です。

しかし、この様な壮大な将来計画を実現するには相当の期間を要すると思われまます。よって、今、何を行わなければならないかという観点で、駅前整備の都市計画決定を急ぎたいと思います。

東地区についても、一日も早く事業が軌道に乗るように、組合と地元との話し合いの仲介をし、側面から推進を図っていきたく思います。

折尾駅前については、地元関係者と協議を重ね基本計画を作成し、それに基づき都市計画決定を今年度中に行いたいと思ひます。

また、産業医科大学の開校を来年にひかえて、折尾駅前の再開発計画はどうなっていますか。

市長 黒崎駅前の整備については、非常にスペースの狭い所に、

繰り返すな野焼き惨事

議員 さる三月二十五日、平尾台の野焼きが実施された際、野焼き警備に従事していた消防職員五名が、平尾台に隣接する貫山で発生した林野火災に出動して、殉職されるという痛ましい事故が起りました。

この林野火災と野焼きとの関連及び事故の責任の所在を、明らかにしてください。

また、今後再びこうした事故を繰返さないために、どんな対策を考えていますか。

市長 原因については、警察において捜査中であり、この結論を待つて責任の明確化を図る考えですが、市の調査では現在のところ、指揮・命令の誤りによる事故ではなく、不測の事故であると考えています。

また、今後の対策としては、学識経験者で構成する「林野火災対策調査研究委員会」を設置し、そこで、地元関係者の意見も十分お聴きし、参考とする考えです。

畑中助役 警察で調査中であり、是非を論ずるときではないと心得ていますが、今のところ、野焼きの延長的なものから林野火災が発生したとの考えは持っています。

議員 不測の事故ということでありますが、平尾台の野焼きは、気象条件の悪い状況の中で実施されています。

これは当初の計画から天候不順によって度々、延期してきたため時期的なあせりがあったためではありませんか。



現地(平尾台)で説明を聞く議員

また、野焼き警備に当たる人員も、当初計画に比べ大幅に減らして実施していますが、状況判断に甘さがあったのではありませんか。

畑中助役 気象状況については、測候所及び消防局自体で風速や湿度などについて、詳細な調査を事前に行っています。

野焼き当日も平尾台上で、御協力いただく方々と打合せを行い、地元関係者の御意見も承って実施しており、この判断には誤りがなかったものと考えます。

また、野焼き当日の警備人員は、消防職員、消防団員及び隣接町村の方々など、当日、動員可能な人員に併せて野焼き区域を当初計画より狭めて実施しており、人員が不足していたとは考えていません。



黒崎駅前

これは、市が東地区に隣接する駅前広場をどの様に整備していくかを明確にしていけないことが一つの原因であると思ひます。

また、産業医科大学の開校を来年にひかえて、折尾駅前の再開発計画はどうなっていますか。

遅すぎる値上げ通知

—市住家賃—

議員 市営住宅家賃が、七月から平均六十一・六%値上げされます。値上げを決定する前に、入居者の意見や要望を聴く、話し合いの場を設けることはできなかったのですか。

また、新家賃の通知が非常に遅く、入居者は、どの程度の値上げとなるのか分からない状況にあります。どうして通知が、こんなに遅れているのですか。

市長 審議会を設置して入居者の意見を聴くことを検討いたしましたが、値上げ対象団地数で二百

団地、対象戸数が約二万戸余りもあり、代表者を選ぶことが困難であるところから、市民の代表である議会にお諮りすれば、十分であると判断したわけです。

建築局長 事務作業の都合上、通知が遅れて申し訳けないと思っています。本日(六月十五日)各団地の管理人を通じて通知を発送いたします。

値上げ額が、団地ごとに違えばかりではなく、同じ団地に居住しているも高所得者には割り増し家賃などがあるため、戸別の家賃決定を行うのは、複雑な事務作業であり、戸数も多く遅くなったわけです。

決して故意に遅らせたということはありません。

発注は地元業者へ

—公共事業—

議員 政府は現状の不況を乗りこえるために、公共事業の繰上げ発注を指導しております。

本市も政府の呼びかけに応えて、公共事業の大幅繰上げ発注を行う方針であると聞いています。

不況対策として、極めて有効であるといわれています。

厳しい現状に対し、地元中小企業の育成や繰上げ発注に際して特段の措置がなされていますか。

市長 地元中小企業を育てるために、できるだけ地元の業者に請負わせることについては、ここ数年相当な精力を注いでいます。

最近では技術も向上して、高層

市営住宅等のかかなり高度な工事も地元業者で十分にやりこなせるようになりました。

特に不況対策のためにも意欲的にこの問題に取り組んでいます。

五十一年度実績を見ても中小企業に発注した工事は、建設局関係は件数で九十六・四%、金額で八十二・一%、建築局関係は件数で九十八%、金額で九十二%となっております。

大型工事もできるだけ分割し、分割できないものは数社で組む共同企業体に発注するなど地元業者優先措置を取っています。

公共事業の繰上げ発注について

河畔公園建設

議員 志井川と紫川の合流地帯に河畔公園を造る計画があるようです。この中に運動広場を造る予定がありますか。造るとすれば、勤労青少年も利用しやすいようにナイター設備をしてはどうですか。

市長 河畔公園は、野球場・テニスコート・バレーコート・プール・子供の遊び場のある運動公園とする予定です。この公園は約四万七千㎡の広さです。紫川左岸の蒲生地区は用地買収に着手しています。右岸は徳力区画整理事業地域内なので、区画整理の進行をみながら造成したいと思っています。

ナイター設備については、その時になって検討します。



建設中の蒲生団地

推進本部(国)の指示した本年度上半期の目標は七十三・八%です。本市も助役を本部長として公共事業推進本部を設け、毎週各局から契約状況を報告させています。現在までの実施状況からして、目標達成は間違いのないものと思えます。

常任委員会の審査から

委員会は、六月十八日と二十日の両日開かれ「モノレール小倉線の工事施行に関する意見について」など三十六件を慎重に審査しました。

以下、各委員長の報告から主だった質疑を取上げています。

どうする投票箱

委員 徳力土地区画整理審議会委員の選挙における投票箱の凍結を解除して開票する動きがあると聞きます。この投票の効力及び開票の時期について、考え方を明らかにしてください。

畑中助役 この投票の効力については、開票宣言後に法の予測しがたい事態が発生したため、止むを得ず開票を凍結し、現在に至っています。慎重に検討した結果選挙事務は適法に執行されたもので、有効であると判断し、一連の事務手続きを完了させる必要があるとの、結論に達しています。

開票の時期については、区画整理事業の進行上、今年度中に審議会の設置を必要とするので、今後関係権利者に対して、開票事務の再開と開票時期について十分事情を説明し、了解を得るよう努力していく考えです。

響灘(D地区)の埋立計画に関連して

委員 公有水面の埋立に係わる環境アセスメント(環境影響事前評価)の実施計画立案及び現地調査はどのように行ったのですか。

また、この調査に地元住民を参加させ、その意見を反映させる事が

当局 実施計画は、港湾局で原案を作成し、項目ごとに専門家の意見を求め、プロジェクトチームを編成して内容を審議し、その結果に基づき専門機関に調査を委託したものです。現地調査は、各季節ごとの調査を十分に行いました。

住民の参加については、市港湾審議会委員の中に民間人や学識経験者等も入っており、埋立申請に対しても関係書類を三週間にわたって縦覧する等、直接住民の意見を求める場も設けました。

委員 レジャー用と思われるポイントが港湾区域の護岸等に係船されているが、響灘(D地区)埋立後の利用計画には、小型船の係船場を造る予定はありませんか。

また、広大な公園用地が確保されていますが、全市民が利用する場所としては適当でないのではありませんか。

当局 今回の計画では小型船の係船場設置は考えてはいませんが、洞海・門司地区に数カ所の候補地を検討中であり、できるだけ早く実現させたいと思っています。この埋立が完成する六十五年前には交通網も整備されて、大規模臨海性公園緑地として市民がレクリエーションを十分に楽しめるものと考えています。